

海辺・川辺調査レポート

■ 名 前 (ふりがな)	のがみ あきひろ 野上 彰宏
■ グループ名	B & G 三隅海洋クラブ 代表 滝川 一
■ 学校名	岡見小学校
■ 学 年	6 年生
■ 年 齢	12 歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	海洋センター指導員 (谷崎英規)・三保児童館指導員 (山田多恵子) 民宿大黒屋 (梅谷三郎)

■ レポートした場所	島根県那賀郡三隅町の田ノ浦海岸
■ レポートの題名	田ノ浦海岸の昔と今 (侵食された砂浜)
■ 内 容	<p>僕が住んでいる街は、「水澄みの里」と呼ばれている島根県三隅町です。漁業は、イカ釣り。農業は、西条柿。伝統文化では、石州半紙・石見神楽、酒造り、など今も受け継がれている街です。三隅町の人口は、昭和 56 年には、10,020 人でした。今は、約 7,800 人です。</p> <p>海洋センターの指導員さんに、レポートのことを聞き昔の田ノ浦海岸について考えるようになりました。</p> <p>そこで、古い写真を借りて今と昔の田ノ浦を比べました。そして、お父さんやお爺さん・海洋センターの指導員さんに話を聞いたところ 20 年の間にいろいろなことがありビックリしました。昭和 58 年 7 月 23 日に大雨の為災害が起こったこと。沿岸に火力発電所ができたこと。写真を見てビックリことは、砂浜がなくなってきていることです。昭和 58 年ごろは、砂浜で保育所の運動会をしていたこと聞いてビックリしました。</p> <p>海岸の周辺には、シャワー室・オートキャンプ場・トイレ・道路などきれいになってきましたが、砂浜がなくなって冬には防波堤を超える波がきます。新しく作った階段も崩れました。</p> <p>僕は、砂浜がなくなったら、砂遊びも海遊びもできなくなり思い出が作れません。今、田ノ浦海岸では、テトラポットを海面に入れて砂がつく試験をしておりますが、大きな効果ありません。</p> <p>僕は、田ノ浦海岸が 20 年前のように砂浜で運動会ができるようになってほしいと思います。</p>

■ 写 真 名 前 海 洋 セ ン タ ー ・ 三 保 児 童 館 ・ 梅 谷 三 郎



昭和 58 年 5 月 15 日
湊浦母親クラブ主催
「浜運動会」のスナップ



田ノ浦海岸で運動会ができるほど砂浜があった。この年の 7 月 23 日に水害が起こった。海岸の地形が大きく変わった。



平成 15 年 9 月の状況。砂浜がなくなってしまった。変化がスゴイ。



平成元年 7 月のカヌー指導（田ノ浦海岸）
（B & G 艇庫前）



平成 6 年 7 月のカヌー指導（田ノ浦海岸）
（B & G 艇庫前）



平成 8 年 7 月の中学生浜掃除（田ノ浦海岸）
（B & G 艇庫前）



平成 15 年 9 月の田ノ浦海岸
（B & G 艇庫前）



昭和 59 年 1 月の田ノ浦海岸
（海洋クラブ親子ジョギング大会）



平成 5 年 6 月の砂浜



平成 15 年 9 月の状況。砂浜がなくなってしまった。変化がスゴイ。